



平成 21 年 3 月 9 日

各 位

上場会社名 グローリー株式会社  
 代表者 代表取締役社長 西野 秀人  
 本社所在地 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号  
 コード番号 6457  
 上場取引所 東証第一部、大証第一部  
 決算期 3月  
 問合せ先 取締役 常務執行役員 尾上 広和  
 T E L (079) 297-3131

### 中期経営計画の策定についてのお知らせ

この度当社は、2009年度から2011年度までの3ヶ年を計画期間とした「2011中期経営計画」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 「2011中期経営計画」基本方針

～ 世界的視野でビジネスチャンスをつえ、新たな成長ステージへ飛躍する！～  
 スローガン “GET INTO GLOBAL 2011”

#### 2. 基本戦略

当期を最終年度とする「18中期経営計画」では、販売及びアフターサービスを担当する100%子会社であるグローリー商事株式会社との合併効果を早期に実現すべく、企業価値向上に注力し、「成長戦略」「効率化戦略」「ガバナンス戦略」を柱に計画を推進してまいりました。その結果、企業体質の強化を図ることができました。

この度当社は、「2011中期経営計画」を、新たな成長ステージに向けた基礎固めの計画と位置づけ、以下の戦略を実施してまいります。

##### 1) ビジネス戦略

①成長ビジネス(海外事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外全体戦略に基づく積極的な経営資源の投入</li> <li>・販売・保守網のグローバル展開</li> <li>・海外展開を想定した製品開発</li> </ul>
②基盤ビジネス(国内事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価低減による収益性の改善</li> <li>・高付加価値戦略による収益確保</li> <li>・新市場の開拓</li> </ul>
③将来ビジネス(新事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R&amp;D部門と事業部門の連携強化による早期事業化</li> <li>・新事業・新ビジネスモデルの構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>→現業につなぐ周辺要素技術の深掘り強化</li> <li>→非現金分野の強化</li> <li>→独自技術と外部技術の融合</li> </ul> </li> </ul>

## 2) 体質強化戦略(革新活動)

①開発革新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計品質のさらなる向上とコスト低減の継続的な追求</li> <li>・開発効率のさらなる向上</li> <li>・コア技術のグローバル化とユニット共通化推進</li> </ul>
②生産・調達革新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ最適な生産・物流戦略の策定と実施によるトータルコストダウン</li> <li>・生産技術力の革新</li> </ul>
③営業革新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい事業環境に打ち勝つ営業スタイルの実現</li> <li>・顧客・地域志向での支店・営業所の機能再構築</li> </ul>
④在庫革新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCMシステム統合による業務改革</li> <li>・生産リードタイムの短縮</li> <li>・海外現地法人まで含めた適正在庫維持</li> </ul>

## 3) グループ体制強化戦略

①ガバナンス戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全体のガバナンス体制強化</li> <li>・グループ全体のコンプライアンスの浸透・徹底</li> </ul>
②グループ会社戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ子会社の役割・ミッションの明確化とグループ再編</li> <li>・グループ子会社の体質強化</li> </ul>
③人事戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人的資源の選択と集中</li> <li>・グループ全体を睨んだ人事戦略</li> </ul>
④資産・資本政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総資産圧縮による資産内容の健全化</li> <li>・財務基盤の安定化</li> <li>・戦略的投資と株主還元の最適化</li> </ul>

## 3. 業績目標(2011年度)

・連結売上高	1,700億円
うち海外売上高	510億円(海外売上高比率30%)
・連結営業利益	150億円(利益率8.8%)

## 4. 利益分配に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、将来の事業展開と健全な財務体質の維持・強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針といたします。

具体的には、連結自己資本の1.5%の安定配当を下限とし、連結当期純利益の25%以上を目標とした利益分配を行うことといたします。

自己株式の取得につきましても、資本効率の向上と、経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するために、適宜実施してまいりたいと考えております。

#### 5. 中期経営計画見直しについて

この度の中期経営計画の内容につきましては、現在の市場環境が不透明なため、最終年の2011年度の数値目標設定のみにとどめ、単年度の目標につきましては、見通しがつき次第あらためて開示いたします。

また、今後の環境変化や経済動向を踏まえ、中期経営計画のローリングを毎年行ってまいります。

※本リリースに掲載されている将来の予測は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、多様なリスクと不確定要素が含まれております。今後様々な要素によって大きく異なる結果となる可能性がありますことをあらかじめご了承ください。

以上